



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第1号

令和5年(2023年) 4月11日(火)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



学校だよりの名称について ～思いと願い～

「かけはし」という名称で作成されている学校だより、その名称を令和5年度も引き継ぎたいと思います。この名称には、保護者の皆様や地域の方へ、小学校でしっかり生き方を学んできた子どもから、中学校では生き方を伝えていく、自立した「すてきな大人」へ成長していく様子を届ける「かけはし」になればという思いや願いが込められています。

学校だより「かけはし」を楽しみに待っていただける方が少しでも増えるよう、子どもたちの成長を届けていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

中学生のうちに自立の準備を ～すてきな大人へ～

令和5年度錦中学校学校教育目標

ふるさとに誇りをもち、人間性豊かでたくましい子どもの育成
－豊かな体験と知恵を身に付けたすてきな大人へ－

錦中学校への入学や進級を迎え、錦中生の心の中には、多少の不安はあるものの、ワクワク・ドキドキと夢や希望、期待が大きな心の音を立てているのでないでしょうか。長いと思われる義務教育9年間も中学校3年間で終了します。3年生の中には「あと1年」と時の過ぎるスピードの速さを感じている人も多いと思います。

そこで、錦中学校ではこれからの予測困難といわれる時代を力強く生き抜いていく「すてきな大人」に錦中生を成長させるために「養ってほしい4つのもの」を次のように表現していきます。

①「自ら学ぶ力」②「豊かな人間性」③「決めたことを最後までやり抜くたくましさ」④「地域を愛する心」です。この4つのものを自分自身で意識して育ててほしいと願っています。

①「自ら学ぶ力」・・・責任のある大人は、社会や家族のため、ひたむきに仕事をします。それぞれの仕事に必要な知識や技能を身に付けるために自ら学ぶことが求められます。学校の授業や家庭学習を通して、「自ら学ぶ力」を身に付けてください。

②「豊かな人間性」・・・「温かい心」「人を大切にする心」「目配り・気配り・思いやり」などをさします。錦中生は「学び合い・支え合い・高め合うチーム錦」の一員です。「仲間と協力する協調性」を養い、「豊かな人間性」を育ててください。

③「決めたことは最後までやり抜くたくましさ」・・・勉強や部活動、学校行事や生徒会活動、何事も最後まであきらめずやり抜き、「体と心のたくましさ」を身に付けてください。

④「地域を愛する心」・・・「これがわたしのふるさとだ」「This is NISHIKI」「これが錦中学校だ」「これが錦のまちだ」というものを探っていきましょう。錦のまちづくりに、君たちが新しい風を吹き込むのです。

「自ら学ぶ力」「豊かな人間性」「決めたことを最後までやり抜くたくましさ」「地域を愛する心」はこれからの時代を「生きる力・生き抜く力」につながります。錦中学校ではそれらを総じて、これから「錦魂」「錦愛」と呼んでいきます。是非、そのことを胸に刻み、錦中学校の生徒であることに自覚と誇りをもって、これからの学校生活を送ってください。

【令和5年度錦中学校第49回入学式校長式辞から】

校長のひとりごと ～東京ディズニーランド発「おもてなしの心」～

私の大好きな場所に東京ディズニーランドがあります。その東京ディズニーランドが大切にしているものに『3つの「お」』があるのを知っていますか。『3つの「お」』とは『おもてなし』の「お」、『おみやげ』の「お」、そして『おもいで』の「お」なのだそうです。

今回は『おもてなし』の「お」に関わる「約束のお子様ランチ」の話を紹介したいと思います。

ある日、カップルが東京ディズニーランド内にあるレストランへ行きました。キャスト(従業員)に導かれてカップル席に案内されました。「ご注文はお決まりですか。」とキャストの問いに、「お子様ランチをお願いします。」とカップル。するとキャストは「お客様申し訳ございませんが、お子様ランチは9歳までとなっています。しかも、カップル席ではなくファミリー席での注文となっています。」と注文できない旨を伝えると、カップルはがっかりと肩を落とし、うつむいてしまったのです。

何か変だと感じたキャストは「お子様ランチはどなたがお召し上がりになるのですか。」と尋ねると、女性の方が「私たちの子どもが先日亡くなったのです。亡くなった子どもとの約束で、病気が治ったら、またディズニーランドで食事をしようね……。今日は子どもの供養のためにもと思い、ここに來たのです。ダメかと思ったけど、注文したのです。」と。その話を聞いたキャストは、2人をカップル席からファミリー席に移動してもらい、亡くなった子どもの分をあわせて、お子様ランチ3人分注文したのです。そして、「3人目の分につきましては、店からのサービスとさせていただきます。」と言ったのです。

後日、この出来事の様子やキャストの対応、そして心からの感謝の気持ちを込めた手紙がカップル(夫婦)から社長へ届けられたのです。

東京ディズニーランドには「本当にお客様のためであれば、そのきまりを超えてもよい」というきまりがあるそうです。この「約束のお子様ランチ」の話は、「おもてなし」のあり方を学べるすてきな話だと思っています。

ビジネスの原点は、「人を喜ばせること」にあると言われています。商品なら、それを持ったり使ったりすることで、幸せな気持ちになります。また、サービスならお客から「ありがとう」という言葉が出てくるものです。そのような「喜び」をもたらす商品やサービスに私たちはお金を支払い、またその価値を認めているのだと思います。

東京ディズニーランドのリピート率が高いのは、キャスト一人一人に「おもてなしの心」が浸透しており、お客の「喜び」や「満足度」が高いからなのでしょう。

「子どもたちは、毎日学校にやってくるすてきなリピーター」「保護者や地域の方々は学校に来ていただく大切なお客様」そう考えると「生徒たちに喜びをもたらす学校づくり」「保護者や地域の方々がりピーターとして学校にやってくる学校づくり」とは何か、この1年間、自問自答を続けていきます。

錦中学校が東京ディズニーランドのように多くの人から愛される場所になるよう、教職員とともに努力していきます。応援、よろしくお願いします。錦中生一緒にがんばりましょう。